

# 決算審査の主な質疑と答弁

Q まちづくり読本について、住民の評価は。  
A 住民のアンケート調査から概ね好評と受け止めている。

Q 行政区自治会館の建替えには、人口減少について配慮されているか。  
A 現状や将来を見据えて設計を行っている。

Q 出産記念品として現在ベビー服を贈呈している。品物の変更を求める声があるがどう受け止めるか。  
A 窓口では聞いていないが、次年度に向けて事業のあり方を含め検討したい。

Q 住民基本台帳カードの活用方法は。  
A 写真付きカードは、運転免許証と同様に口座開設等で本人の証明となる。写真なしのカードは、主にインターネットでの確定申告を行うために利用されている。

Q ごみの不法投棄対策と

して啓発看板に警報アラームを設置した効果は。  
A 啓発看板設置箇所の不法投棄は減少したが、ほかの場所には投棄がある。

Q 福祉灯油助成事業は、今年も実施されるのか。  
A その年の12月1日現在の価格が1リットル100円を超えているかによって判断するので、今の段階では明言できない。

Q 緊急通報システムの設置状況は。  
A 本年度は、19件設置したが、入院等の事情で解除する人も多く、全体で4件の増となった。

Q 家庭用生ごみ処理機器購入助成の効果は。  
A 一人当たり排出量では生ごみだけが減少している。

Q 30名の防災士は、今後、町の防災にどのようにかかわっていくのか。

A 防災士と地域防災マスターで組織する地域防災連絡会議等を通じて自主活動や研修に出てもらい、地域の自主防災組織の中核を担ってもらいたい。

Q インターネットでの消費者トラブルの内容は。  
A 主にスマートフォン使用でのインターネットによる契約や受信料のトラブル、また、通販利用で購入した商品が届かない等のトラブルである。

Q 農業振興における本年度事業の成果は。  
A 本年度、新規就農者が10名となったこと、未耕作地が発生せず農地がしっかりと守られていること。

Q 青年就農給付金は、該当すれば対象者すべてが受給できるのか。  
A 要件が整えば、受給可能。

Q 本町の農産物ブランドの認定基準は。  
A 農協、農民協議会、女性団体等で作るブランド化推進協議会において、ブランド

産品規定に基づき申請を受けたものの中から決定する。

Q 未来につなぐ森づくり推進事業が、当初計画を大きく下回った原因は。  
A 民有林の所有者の意識に大きな差がある。今後は、森林の大切さを啓発していく。

Q 農業の担い手育成は、国の補助金が潤沢に入っているが、商工業にも事業継承者に対して町で支援を考えているか。  
A 検討する。

Q 団地内の雪の始末を軽減するため、1日に2回除雪を行っているか。  
A 現状のオペレーターの数では、安全面の確保、時間数及び経費面を考慮すると難しい。

Q 団地内道路の除雪は、左右の住宅に公平に行っているか。  
A 区内、町内会での合意がまず必要となる。

Q 防災無線で放送した災害情報や緊急情報などを電話

で問い合わせた時自動応答するシステムを作れないか。  
A 技術的には可能なので、調べてみる。

Q 不登校の子供が小学生で4人いるが現状は。  
A 中学生1人は通常登校となり、ほか3人は滝川の指導教室に通っている。

Q 就学援助は、当初から予算措置されており、修学旅行の費用を事前に出せないか。  
A 現状では実績に応じて扶助することになっている。

Q 新十津川祭りで子ども神輿、子ども獅子神楽など伝統的なものがあるので、小中学校を共に休みにできないか。  
A 中学校は学習指導要領による年間時数確保のため難しい。

Q 新十津川祭りで子ども神輿、子ども獅子神楽など伝統的なものがあるので、小中学校を共に休みにできないか。

Q 中学校は学習指導要領による年間時数確保のため難しい。

Q 新十津川祭りで子ども神輿、子ども獅子神楽など伝統的なものがあるので、小中学校を共に休みにできないか。

Q 中学校は学習指導要領による年間時数確保のため難しい。

Q 防災無線で放送した災害情報や緊急情報などを電話